

矢小だより

第30号
 令和6年2月2日
 由利本荘市立矢島小学校

保護者アンケートについて

過日実施しました「学校教育に関するアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。集計結果並びに分析と今後の取り組みについて、次のようにまとめましたので、お知らせいたします。

尚、記述欄に記載されていたご意見、ご要望も載せましたので、併せてご確認ください。（記述のあったものにつきましては、概ね取り上げましたが、一部表現を変えたものや割愛させていただいた部分もありますので、ご了承ください。）

4…十分 3…まあまあ 2…少し不十分 1…不十分

	評価項目	5年度	4年度	前年比
1①	明るいいいさつを交わす	3.1	3.2	-0.1
②	自分のよさに気付き、友達のよさが分かる	3.1	3.1	±0
③	友達と共に成長しようと協力し合う	3.1	3.3	-0.2
④	生活のきまりを守り、他に迷惑をかけない	2.9	3.0	-0.1
⑤	何事にもねばり強くやり抜く	2.9	3.0	-0.1
⑥	健康や安全に気を付けながら、友達と仲よく遊ぶ	3.2	3.3	-0.1
⑦	進んで仕事に取り組む	3.0	3.1	-0.1
⑧	自分の考えや思いをもち、はっきりと伝える	3.0	3.1	-0.1
⑨	人の話を目と心できちんと聞く	2.8	3.1	-0.3
⑩	いろいろな学習方法を身に付け、意欲的に学習する	2.8	3.0	-0.2
2	学校の勉強を理解している	3.0	3.2	-0.2
3	家庭学習をよくやっている	3.0	3.1	-0.1
4	自主的に読書に取り組む姿が見られる	2.4	2.6	-0.2
5	矢島小の先生は子どもをよく理解している	3.4	3.4	±0
6	学校での活動の様子をわかりやすく伝えている	3.4	3.4	±0
7	子どもは家庭で学校での活動の様子を話している	3.2	3.3	-0.1
8	学校はコミュニティ・スクールとして家庭や地域と連携している	3.4	3.4	±0
9	矢島小の先生は保護者と連絡を取っている	3.4	3.3	+0.1
10	P T A活動は十分か	3.4	3.4	±0



由利本荘市立矢島小学校 住所：015-0411 秋田県由利本荘市矢島町城内字八森6番地

Email : yasima-es@edu.city.yurihonjo.akita.jp 電話:56-2069 /FAX:55-2721

○1～10までの設問に関するご意見

- ・字を書くことの楽しさ、字を読むことの楽しさなど土台となるところから教えてほしい。
- ・本の素晴らしさ、感動体験（泣ける、笑う、没頭する）
- ・祭りの後、休むのは当たり前に近いと思います。理解してほしい。休んだ後の勉強の教え方に不満でした。
- ・読書は家でしていない。自分の考えを人前で話すとき声が小さくなる。
- ・子どもが学校の様子をあまり話さないの、家庭でも、積極的に学校のことを聞くようにコミュニケーションをとるように心がけたいと思います。
- ・2、3について、宿題、家庭学習はもう少しシンプルでよいと思います。
- ・我が子のやる気の問題が大きいです。
- ・苦手な科目になると時間がかかってしまう。同じ問題でも時間が経つと同じ間違いをしている。解き方について理解していないと思う。
- ・家と学校では違っているのは当たり前ですが、まだ自分から進んであいさつが十分でないと思います。
- ・一緒に図書館に行ったり読書の時間を作りたいです。
- ・読書はしない方ですが、アニメキャラクターの特徴などの記載がある本は読んでいます。やはり読書よりメディアに向かってしまいがちです。

○本校の教育（学校行事も含む）に対するご意見、ご要望

- ・授業参観日と同じ日にできる内容であれば、PTCAを実施してほしい。
- ・いじめの調査票などいじめを早期発見できる対策をとってくださるのがとても心強いです。
- ・矢島小学校の先生方は本当に子どもらを大切に大事に教育してくださっていると思います。よろしくをお願いします。

○矢島小に特に力を入れてほしいこと（上位5項目）※複数回答

- ①心の教育〔45人〕 ②個に応じた指導〔43人〕 ③自ら学ぶ力の育成〔43人〕
④コミュニケーション力〔42人〕 ⑤礼儀・礼節〔40人〕

○分析と今後の取組

〔分析〕

- ・昨年と比較し、全体的に評価が下がっているが、大きな変化は見られない。
- ・それぞれの項目について、「十分」「まあまあ」の肯定的な評価がほとんどであったが、「読書」に関しては、「少し不十分」「不十分」が多い。

〔今後の取組〕 ※「ご意見、ご要望」に関する取組も記載しています。

- ・学習について、各教科の基礎・基本を大切に、子どもたちが「分かった、できた」を実感できる授業を進めていくよう、授業改善に一層努めていきます。
- ・家庭学習の習慣化については、家庭とも十分連携を図りながら、子ども一人一人の実態に応じて、適切な支援を継続していきます。また、その内容も授業と連動させるなど、子どもが必要感をもって取り組むことができるようにすることで、主体的な取組を促していきます。
- ・読書に関して、図書委員会ともタイアップするなど、押しつけではなく、子どもたち自身で読書を奨励していただける支援を考えていきます。
- ・令和5年度は、授業参観日にPTCAを実施した学年も多くありました。学年のPTA役員とも相談し、PTCAの実施日を検討していきます。